

地学オリンピックのススメ

International Earth Science Olympiad



表彰式後
(アルゼンチン大会)



メダル
(日本大会)

地球から宇宙へ
そして未来へ
**Our Future:
Earth&Space**

仲間をつくり、地学に触れるチャンス!

毎年開催される国内選抜の「日本地学オリンピック」は、地学好きの中・高校生であれば誰でもチャレンジできます。さらに、「国際地学オリンピック」は、世界の仲間と競い合い、仲間をつくり、地学を一緒に楽しむ国際交流のチャンスでもあります。ぜひ、多くの中・高校生の参加を期待しています。

日本地学オリンピックから国際地学オリンピックまでの道のり

9・11月	日本地学オリンピック 参加者募集 (参加資格:小学生、中学生、高校生)		
12月	日本地学オリンピック 1次予選 オンライン (兼 国際地学オリンピック一次選抜) ■高校で学ぶ「地学基礎」を中心に出题されるオンライン試験に挑戦します。優秀者約200名が2次予選に進めます。	4・8月	国際地学オリンピック 代表選手通信研修 ■過去の国際地学オリンピックの様々な問題に挑戦し、金メダルを目指して研修に取り組みます。
1月	日本地学オリンピック 2次予選 マークシート (兼 国際地学オリンピック二次選抜) ■優秀者のうち、国際地学オリンピック参加資格のある中学3年生から高校2年生の約60名が本選参加者として選抜されます。	5・7月	国際地学オリンピック 代表選手合宿研修 ■5・7月の合宿研修では、より専門的な岩石・鉱物・化石鑑定、天体観測、野外調査実習などを、オリンピックOB・OGを交えて行います。  野外地質調査研修(秩父)
3月	日本地学オリンピック 本選 (兼 国際地学オリンピック三次選抜) ■「グランプリ地球にわくわく」として実施 ■本選は地質/固体地球、気象/海洋、天文/惑星、環境に関する記述式問題と、標本鑑定に挑戦します。 ■本選は3日間にわたる合宿形式。試験に挑戦するだけでなく、「とつぷ・レクチャー」で研究者の講演を聴いたり、研究所や大学を見学したりして研究の最前線に触れることができます。 ■成績優秀者10名が金賞に選ばれ、うち1名に最優秀賞が授与されます。 成績優秀者は試験結果を大学推薦入試などに利用できます。	8月	国際地学オリンピック 国際地学オリンピック ■世界中から選抜された選手が筆記試験と実技試験を競い、上位10%に金メダル、20%に銀メダル、30%に銅メダルが与えられます。 ■試験の他に国際混成チームでの国際協力野外調査、現地での高校訪問、開催地の自然や文化を知る催しなどのイベントが行われます。
	国際地学オリンピック 日本代表選考 ■本選の成績優秀者10名は日本代表選考会に参加し、英語による討論や面接に挑戦してもらいます。その中から4名の国際大会の代表選手が選ばれます。		

筆記試験(2次予選・本選)



本選試験

地学オリンピックの問題は
<https://jeso.jp/>からご覧いただけます。

例えば気象データから天気を予想をする問題や、温泉の泉源の写真を見て解説文を完成させる問題、地球を太陽から遠ざけたときの地表温度の計算など、ユニークな問題がたくさん出題されます。タイムリーな地球・惑星・天文科学の科学成果を取り入れた問題に触れられるのも魅力の1つです。

実技試験(本選・国際大会)

岩石や鉱物の鑑定や天体望遠鏡を使う問題、海洋実技に挑戦する問題など地学を楽しめる問題や、データを見て考察・計算するという研究者が行うような過程を追体験できるような問題もあります。



標本鑑定試験(本選)



地質実技試験(国際日本大会)

先輩たちが魅力を語る！



受賞後の日本代表選手(日本大会)

地学好きの仲間ができる！

日本地学オリンピックの本選や国際地学オリンピックは合宿形式で行われます。参加者と地学の話題で熱く語り合う経験は、同じ興味をもった仲間が集まる地学オリンピックならではの魅力です。大会後もメールやFacebookで今でもやりとりが続いています。



パーティー(台湾大会)



サヨナラパーティー(インド大会)

フィールドワークで海外の仲間と一緒に調査！

国際地学オリンピックでは国際協力野外調査(ITFI)、現地の高校訪問、開催地の自然や文化を知るツアーも魅力の1つです。ITFIは10人程度の国際混成チームで行われ、地質調査、地震断層面の計測、地形の観察、鍾乳洞調査など毎回開催地ならではの課題に挑戦します。



ITFIマヨン火山(フィリピン大会)



ITFIカルスト地形調査(フランス大会)



ITFI海岸調査(スペイン大会)



表彰式後(ブラジル大会)

これまでの国際地学オリンピックの成績と今後の予定

開催地	日本の成績			参 加	国内予選応募者数
	金	銀	銅		
2007年 第1回 韓国	日本はオブザーバー参加			—	—
2008年 第2回 フィリピン	0	3	1	6ヶ国・地域 24名	358名
2009年 第3回 台湾	0	4	0	14ヶ国・地域 50名	698名
2010年 第4回 インドネシア	1	3	0	17ヶ国・地域 63名	682名
2011年 第5回 イタリア	1	2	1	26ヶ国・地域 104名	896名
2012年 第6回 アルゼンチン	1	3	0	17ヶ国・地域 66名	924名
2013年 第7回 インド	1	3	0	23ヶ国・地域 90名	1011名
2014年 第8回 スペイン	3	0	1	21ヶ国・地域 82名	1689名
2015年 第9回 ブラジル	1	1	2	22ヶ国・地域 85名	2296名
2016年 第10回 日本(三重県)	3	1	0	26ヶ国・地域 100名	2146名
2017年 第11回 フランス	2	2	0	29ヶ国・地域 108名	1924名
2018年 第12回 タイ	3	1	0	38ヶ国・地域 139名	2211名
2019年 第13回 韓国	4	0	0	43ヶ国・地域 163名	1952名
2021年 第14回 オンライン	1	2	1	34ヶ国・地域 185名	1635名
2022年 第15回 オンライン	—	—	—	—	1919名



地学オリンピック応援のお願い

日本の地球惑星科学(地学)教育の充実・発展のために、皆様の絶大なご支援・ご協力をお願いいたします。

以下の口座にお振込のうえ、地学オリンピック日本委員会にメールにてご連絡ください。

みずほ銀行本郷支店
普通2745587

特定非営利活動法人
地学オリンピック日本委員会

寄付・協賛の方法

お問い合わせ



NPO法人地学オリンピック日本委員会

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル内

E-mail: esolympiad@yahoo.co.jp

日本地学オリンピック

主催/NPO法人地学オリンピック日本委員会

共催/国立研究開発法人科学技術研究機構、公益社団法人日本地球惑星科学連合

地学オリンピックの情報はこちらから

<https://jeso.jp/>